

現代の理論・社会フォーラム経済分析研究会

第24回研究会のご案内

中国—超格差社会からの脱出は可能か

急激な成長を遂げ、世界第2位の経済大国になった中国。これまでの輸出と公共投資主導型の経済成長をから内需主導による中成長の経済へと転換することが求められています。ところが、鉄鋼など大規模な供給過剰、地方政府の債務の急増、進展しない国営企業の民営化に加え、格差社会の拡大など不安要因は少なくありません。特に問題なのが国内消費を担う中間層の形成です。中国の中間層は増加したとはいえ薄く、極端な格差社会が続いています。こうした超格差社会の是正は、中成長の経済にソフトランディングするためのカギを握ると言えます。

今回の研究会では、中国社会における超格差社会の形成、とりわけ政府の政策との関連の研究を行っている徐一睿氏に報告していただきます。同氏によるこの問題の研究は未発表で本研究会での発表が初めてとなります。

皆様方のご出席をお待ちしております。

- ◎日時 **12月17日（土）14時～17時**
- ◎場所 **専修大学神田校舎1号館13階13A会議室**
- ◎講師 **徐一睿氏（専修大学経済学部准教授）**
- ◎資料代 **500円（会員は無料です）**
- ※講演終了後、講師を交え懇親会を行う予定です。

徐一睿氏のプロフィール

専修大学経済学部准教授。専門は財政学、中国経済。2003年慶應義塾大学経済学部卒業、2009年同大学経済学研究科博士課程修了（経済学博士）。慶應義塾大学経済学部助教、嘉悦大学経営経済学部専任講師を経て、2014年現職。2013年上海财经大学公共政策与治理研究員客員研究員、2014年上海金融学院客員教授。著書に『中国の財政調整制度の新展開—「調和の取れた社会」に向けて』（日本僑報社、2010年、第8回華人学術賞・第11回日本地方財政学会佐藤賞受賞）、『中国の経済成長と土地・債務問題—政府間財政システムにおける「競争」と「調整」』（慶應義塾大学出版会、2014年）など多数。Facebookで発信中。



お問い合わせは現代の理論・社会フォーラム事務局
TEL 03-3262-8505 あるいは
E-mail: nc@keizaiken.sakura.ne.jp まで

経済分析研究会

検索

